

資料 4

墨田区保育所等整備計画の見直し等について

1 趣旨

本区では、増加・多様化する保育ニーズに的確に対応していくとともに、継続的・安定的に保育サービスを提供していくため、「墨田区次世代育成支援行動計画 墨田区子ども・子育て支援事業計画（平成27年度～平成31年度）（以下、「事業計画」という。）」に基づき、平成27年9月に「墨田区保育所等整備計画（以下、「整備計画」という。）」を策定した。整備計画においては、区内を「すみだ幼保小中一貫教育推進計画」に沿った10ブロックに分け、更なる保育の質の維持・向上を目的として、各ブロックの区立保育園1園に、ブロック内の他園に対する援助や情報共有の核といった機能を付与し、基幹園として位置付けることとした（【別表1】参照）ほか、多様な保育サービスを拡充するため、指定管理者制度や公私連携制度を活用した民間活力の導入について、具体的に示したところである。

整備計画策定以降、保育対象人口や保育利用意向の増加により、保育需要が増加したことを受け、墨田区待機児童解消計画（平成28・29年度）に基づき保育所数及び保育所定員の拡大を行ってきた。この傾向は今後も続くものと考えられ、こうした状況のもとで、改めて保育の質の維持・向上について努めていく必要があることから、整備計画の見直しを行うこととする。

2 保育所等の整備状況（予定含む。）

保育所等（認可保育園、認定こども園及び小規模保育所）の整備経過は以下のとおりである。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
保育所等整備数（園）	60	67	75	85
保育定数（人）	5,167	5,419	5,695	6,503

（数値は各年度4月1日現在。平成30年度は見込数）

3 整備計画の見直し内容

区立保育園の基幹園化については、基幹園機能をより効率的・効果的に発揮するため、指導・検査機能の充実と合わせて子ども・子育て支援部内に集約して支援等の機能を確保していく。

また、基幹園機能の実施方法の見直しを行うことから、基幹園化の前提としていた区立保育園の認定こども園への移行についても、平成30年度に移行を予定していた江東橋保育園及びおむらい保育園も含めて、当面の間は凍結することとする。認定こども園への移行については、次期事業計画（平成32年度～平成36年度）を策定する際に、保育園の改築計画と合わせて検討していく。

4 民間活力の導入

平成36年度にあおやぎ保育園へ公私連携制度を導入する。あおやぎ保育園を含めた今後の民間活力の導入予定は【別表2】のとおりである。

【別表 1】 認定こども園への移行及び基幹園化候補園一覧

地域	ブロック	保育園名	建築 (改築)年数	0歳児 保育	認可定員 (全年齢)
北	A	しらひげ保育園	34年	○	105人
	B	八広認定こども園	2年	○	120人
	C	中川保育園	34年	○	112人
	D	たちばな認定こども園	19年	○	91人
	E	寺島保育園	35年	×	94人
	F	おむらい保育園	40年	○	116人
南	G	東駒形保育園	43年	×	67人
	H	江東橋保育園	25年	○	161人 (分園を含む。)
	I	立川保育園	37年	×	91人
	J	横川橋保育園	39年	○	116人

建築（改築）年数は平成29年4月1日現在

【別表 2】 民間活力導入の今後の予定

導入年度	保育園名	手法
平成30年度	亀沢保育園	指定管理者制度
平成31年度	長浦保育園	
平成32年度	水神保育園	
平成33年度	すみだ保育園	
	ひきふね保育園	公私連携制度
平成34年度	文花保育園	
平成35年度	梅若保育園	
平成36年度	あおやぎ保育園	